

新拠点ゾーン整備基本計画(案)に係るパブリックコメントの主な意見・市の考え方（案）について

1. 意見募集概要

- ・募集期間：令和2年10月15日（木）から11月13日（金）まで
- ・周知方法：広報まつど（10/15号）、松戸市公式ホームページ、松戸市公式SNS（FaceBook・Twitter）、「MATSUDOING 2050」公式FaceBook、まつどニュース、近隣町会・自治会へのご案内、「MATSUDOING 2050」参加者へのご案内 など
- ・募集意見総数：291件（90人）
- ・提出方法の属性：全291件のうち・・・メール 135件（46.4%） ファックス 70件（24.0%） 専用応募フォーム 64件（22.0%） 持ち込み 15件（5.2%） 郵送 7件（2.4%）
- ・提出者の属性：全90人のうち・・・市内在住者 86名（95%） 市外在住者 2名（2%） 不明 2件（3%）
 - 市内在住者のうち、松戸駅周辺地区在住者 19名（22.4%）、その他 67名（77.6%）
 - 提出者のうち、「MATSUDOING 2050」ワークショップ参加者からの意見 8名（8.9%）

2. カテゴリー別意見数

1. 庁舎建替え	2. 庁舎建替え 手法	3. 庁舎その他 (導入機能など)	4. 事業凍結 (延期)	5. 災害対応	6. 施設内容	7. みどり	8. 歴史・文化	9. 交通
18	26	13	27	16	30	11	8	29

10. 市民説明	11. 市民参加 (WS)	12. 議会	13. 周辺まちづ くり	14. 事業手法 事業費	15. 市の財政	16. 計画本文	17. その他	合計
33	10	6	10	32	4	11	7	291

3. カテゴリーごとの主な意見と市の考え方案（抜粋）

(1) パブリックコメントによる計画内容の修正有り一覧表（7件）

カテゴリー	主な意見	意見に対する市の考え方（案）	修正有無
8. 歴史・文化	<p>相模台の歴史と地形については、中世の歴史について触れられていませんが、その地名の由来である相模台城の歴史という重要な継承要素があります。相模台城は、聖徳大学構内に経世塚があるとおり、小弓公方滅亡の第一次国府台の合戦の地です。</p> <p>相模台公園の窪地地形は、相模台城の曲輪跡(土塁)、また、市道主2-68号(S字道路)は空堀跡と推定されており、文化財として調査が必要な貴重な地形です。</p>	<p>相模台公園のくぼ地につきましては、南へ張り出した郭を窺わせますが、現状、遺構は確認できておりません。そのため、事業実施にあたりましては、埋蔵文化財調査を実施して確認してまいります。</p> <p>また、いただいたご意見を参考に、本計画（案）第6章(p.77)の下から13行目に「戦国時代の天文7（1538）年、国府台合戦の際に、小弓公方足利義明の軍兵と小田原の北条氏綱の軍兵が相模台で戦い、義明らが討ち死にしたと伝えられています。」を追記いたします。</p>	有
9. 交通	<p>「新拠点ゾーン内での自動車の滞留を抑制し」(54 ページ)の削除を要望します。削除することで文章がスッキリします。</p> <p>新拠点ゾーン内での自動車の滞留を抑制は、物理的に無理だと思います。どうしても、抑制するのであれば、来場制限をかけるしかありません。そもそも、滞留することは人気のある証拠です。あまり滞留しないのは寂しい限りです。</p>	<p>「滞留することは人気のある証拠です。」とのご指摘のとおり、滞留が生まれる＝新拠点ゾーンに多くの方々がお越しただけにしている状況であるといえます。一方で、新拠点ゾーン内は「歩行者中心の歩きたくなるまちづくり」を目指すために、自動車動線の分散化による速やかな通行の確保や、無秩序な駐車を抑制するための必要な駐車場の配置により、新拠点ゾーンを訪れる多様な人々の快適性を向上させる効果を期待しているところです。</p> <p>いただいたご意見を参考に、本計画（案）第3章（p.54）の20行目「新拠点ゾーン内での自動車の滞留を抑制し、」を削除し、「必要に応じた自動車駐車を適正に配置する事で、新拠点ゾーンを訪れる・・・」に改めます。</p>	有
13. 周辺まちづくり	<p>ワークショップの意見から考えても、多くの市民の意見であった、駅前～西口エリア～旧街道・坂川～江戸川の一体性を重視し全体基本計画をセットでつくることを求めます。</p> <p>P.55の図は、全体基本計画がないのでこのようになってしまっていると思いますが、新拠点ゾーンだけが整備されて、これが中心となって、あとは計画もなく、語尾の「期待されます。」という無責任な表現に見て取れるように「波及するのみ」と考えられているように見えます。</p>	<p>ご指摘のとおり、ワークショップでは、本計画（案）の第1章に一例を掲載しておりますが、新拠点ゾーン以外の松戸駅周辺の商業・業務ゾーン、江戸川周辺・旧水戸街道周辺などの水・歴史のゾーン、戸定が丘歴史公園周辺(千葉大含む)のゾーンなどについても多くの課題やご意見をいただきました。</p> <p>これらにつきましては、本計画（案）とは別に、まちづくりの機運に合わせて段階的に対応が必要と認識しております。</p> <p>また、本計画（案）第3章（p.55）の最終行「・・・が期待されます。」の表現が無責任に感じるとのご意見を踏まえ、最終行を「・・・を目指します。」に改めます。</p>	有
14. 事業手法 事業費	<p>P.50 第2節3. では、相模台公園のある「支える場」について、「高低差を利用して建物を整備することで、台地と低地のどちらの市街地にもアクセスが可能」としていることから、地形を壊して斜面を建物で覆う計画のように読めますが、このような地形の大改変は絶対に行わないよう要望します。</p>	<p>「高低差を利用して建物を整備することで、・・・」の記述が地形を壊して斜面を建物で覆うかのように誤解を与えてしまうので、本計画（案）第3章（p.50）の下から11行目を『相互通行とすることで、・・・』に改めます。</p>	有

カテゴリー	主な意見	意見に対する市の考え方（案）	修正有無
14. 事業手法 事業費	<p>P. 60 で、「土地区画整理事業では、保留地を定め施工費用に充てることのできるため、事業費を抑制することができます。」とされていますが、保留地が売れなければこの論理も成り立ちません。保留地は、商業が含まれる第3段階の中に設定されると思われませんが、第3段階は「今後検討」とされており、事業者が現れなければ保留地が売れず、その間は施行費用を市が負担することになるため、事業者が決まらないうちに大きなリスクを抱え事業着手することがあってはなりません。</p>	<p>こちらは、土地区画整理事業の一般的な仕組みを記載しました。 保留地は市が活用する可能性もあり、ご指摘のように、保留地を処分して本事業の費用に充てるかのような誤解が生ずる可能性がありますので、本計画（案）第4章（p. 60）の18行目を「土地区画整理事業では、宅地の形を整形にして道路勾配の緩和、相互通行、歩道や路肩の拡幅、ライフライン（上下水道・ガス・電気等）の整備を行います。なお、これにより支出は伴いますが、施行者が保留地として事業費相当の土地を取得することができます。」に改めます。</p>	有
16. 計画本文	<p>「ここでいう「緑」とは樹木や草花、植物そのものを表現し、「みどり」とは植物そのものだけでなく、「緑」と一体となった生活、自然環境、防災、快適性、景観など、まちを構成する様々な環境の総体と定義します。」と「緑」と「みどり」の使い分けがなされていますが、両者の使い分けは非常に紛らわしい。</p>	<p>本計画の「みどり」の定義については、「防災」「快適性」「景観」が含まれるなど、ご指摘のとおり一般的な定義よりも、やや広義にとらえすぎた部分がありました。 そのため、「松戸市みどりの基本計画 計画骨子(概要)」(令和元年7月)を参考に、本計画（案）第2章（p. 36）の3～6行目を「『みどり』とは『緑』を基本として樹林地、農地、草地、水辺・水面、公園などの緑地やオープンスペース、学校のグラウンド、民有地の植栽地のほか、水や土壌、大気、生き物の生息地などが一体となって構成された環境及び人との関わりを含めてとらえたものと定義します。」に改めます。</p>	有
16. 計画本文	<p>P. 5に、計画の関連図がありますが、松戸駅周辺まちづくり構想から新拠点ゾーン基本構想、本計画と繋がっていますが、本来はもう一本の流れで、松戸駅周辺まちづくり構想から都市再生緊急整備地域整備方針が「即する」矢印で繋がりが、そこから本計画にも「即する」矢印で繋がっているべきと思われる。ところが、都市再生緊急整備地域整備方針が「検討中または未策定」となっているため、本計画の中に、都市再生緊急整備地域整備方針で示されるはずの全体計画が書かれていなければなりません。</p>	<p>都市再生緊急整備地域は具体の計画が見えてきた地域について指定されることから、現在本計画（案）策定と並行して国と協議中です。そのため、本計画（案）第6章（p. 81）に「都市再生緊急整備地域整備方針(素案)」を掲載するに留めております。 しかし、ご指摘のように「都市再生緊急整備地域整備方針」は、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」に即して作られることから、本計画（案）序章（p. 5）の図序1-1における「松戸駅周辺まちづくり基本構想」から「都市再生緊急整備地域整備方針」へ「即する」矢印を追加いたします。</p>	有

(2) パブリックコメントを受けて計画内容の修正無し一覧表

カテゴリー	主な意見	意見に対する市の考え方（案）	修正有無
1. 庁舎建替え	巨大地震や巨大災害が起きている昨今、早急に新庁舎建設を目指すべきだと思います。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。	無
2. 庁舎建替え手法	現地建て替えのメリットとデメリット、移転先のメリットとデメリットを公開すべきだと思いますが、その準備はできるのでしょうか。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。	無
3. 庁舎その他（導入機能など）	新庁舎には必ずソーラー発電などの自然エネルギーを採用し、省エネに役立つようにして下さい。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。	無
3. 庁舎その他（導入機能など）	昨今のデジタル化が今後さらに進展することも考えれば、市役所という器自体の価値はおそらく今後低下していくものと思います。であれば、市役所として移転させるものの、その後市役所機能が不要になった暁には、子供たちの遊び場や、老人福祉施設などに活用できるなどの、社会福祉施設にスイッチできるような器にしてほしいと切望します。	現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。	無
4. 事業凍結（延期）	コロナでなすべきことが山積しているはずですが、開発を強行するという姿勢を見直す必要を感じます。まずこの問題を一時凍結し、市民と共にじっくり考えていくべきだと思います。	<p>新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画(案)の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加のプロジェクトである「MATSUDOING 2050」のワークショップを開催したところです。</p> <p>コロナ禍の社会経済動向への影響については、現時点では、いまだコロナ禍の最中にあり、社会経済動向や生活様式の変化は続いていくと思われます。しかしながら、現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。</p> <p>今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。</p>	無
5. 災害対応	高台は洪水に対しては有利ですが、高台の法肩部(法面の上端部)は地震動が増幅される場合があり被害の起こりやすい場所ということを前提に油断することなく危機管理を行ってください。	いただいたご意見を踏まえ適正な施設配置を計画してまいります。	無

カテゴリー	主な意見	意見に対する市の考え方（案）	修正有無
5. 災害対応	江戸川が氾濫すれば国道6号もあちこちで寸断されるのであり、「江戸川が氾濫」という端的な想定だけで「移転建て替え」が必然とはならないのではないかと。	<p>現庁舎は、耐震性能の不足はもとより、施設や基幹設備の老朽化により、大規模地震発生の際には倒壊するおそれがあり、市民や職員の人命を守り、災害対応拠点の機能を果たすためには、その建替えは急務であると考えております。</p> <p>このため、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>	無
6. 施設内容	現在の図書館があまりのお粗末です。文化都市松戸にふさわしい図書館を作ってください。	<p>「試みの場」における「商業・業務・文化機能」の整備については、行政が設置に関わるべき機能としては、松戸駅周辺で老朽化や耐震の課題を抱え更新時期を迎えている図書館機能、ホール機能や美術ギャラリー機能などを検討しておりますが、民間事業者の資金力やノウハウを活用した多様なサービス機能の導入も目指しているところです。導入する機能については、今後策定予定の「（仮称）松戸市文化複合施設整備基本構想」の中で、市民の皆さまのご意見を踏まえながら検討してまいります。</p> <p>なお、新拠点ゾーンにおける図書館機能の整備につきましては、「松戸市立図書館整備計画」及び「松戸市立図書館施設整備に関する提言」を踏まえ、新たな機能の実現に向け取り組んでまいります。</p>	無
6. 施設内容	常磐線沿線から都内に入る直前の松戸が勤務目的地になることが考えられ、テレワーク、コワーキングといった個人レベルのワークプレイス需要だけでなく、東京都心の大企業本社のサテライトオフィス需要が一気に増加すると想定でき、戦略的に駅周辺再開発での対応を進めるべきです。	<p>ウィズコロナ・ポストコロナ時代にあって、徒歩や自転車で通勤できる都心だけでなく、テレワークが可能な環境下では、反対に十分な緑や田園が広がる50km以遠の郊外や地方都市など、働く場所の選択肢は今後増えることが予想されます。</p> <p>そのため、その間の都心から15～30km圏の本市が、多くの方に望まれる都市になれるよう検討していく必要があると認識しております。</p>	無
7. みどり	東京下町の無味乾燥な建物砂漠から江戸川を超えると矢切の田園・斜面林が見えて爽やかな気持ちになる。松戸駅そばの中央公園や相模台公園の緑、更に千葉大原始林、浅間神社の極相林は常磐線沿線で唯一つ残された誇るべき貴重な自然がある。これを生かさなない手はない。	<p>本計画（案）は、30年という長い時間軸の中で松戸駅周辺の未来を見据え取りまとめたものとなっております。</p> <p>また、本計画（案）第1章（p.30）にお示ししているとおおり、松戸駅周辺のポテンシャルの1つとして「豊かな自然環境を体感できる」と認識しておりますので、こうした資源を生かした街づくりを今後も進めてまいります。</p>	無
7. みどり	相模台公園には樹齢約50年になる立派な桜の木々があります。これらは残していただきたいです。せめて桜だけでも残して下さい。ご検討の程よろしくお願いたします。	<p>相模台公園の樹齢が進んだ桜は市の大きな財産であり、本計画（案）第2章（p.36）の上から9行目「これほどの豊かな『緑』が保全されてきた環境は本市ならではの強みであり、未来に向けて守り、育むべき大切な財産です。」とお示ししており、健全な樹木は極力現状のまま保存することで検討しております。</p>	無
8. 歴史・文化	中央公園の正門門柱、旧陸軍工兵学校歩哨舎は市の指定文化財ですので壊さないとと思いますが、これだけは絶対に残してください。	<p>陸軍工兵学校時代の門柱や歩哨舎は、本市指定の文化財となっております。こちらは、現状のまま松戸中央公園内に歴史的遺構として保存したいと考えております。</p>	無

カテゴリー	主な意見	意見に対する市の考え方（案）	修正有無
9. 交通	現状の市道主 2-68 号は、国道 6 号から相模台小学校手前までの間、現状の歩道は、幅員 1 m 未満の箇所もあり、すれ違う歩行者の一方が車道に出てすれ違う状況です。また段差も多くバリアフリーではありません。	通園・通学する児童・生徒をはじめとした歩行者の交通安全は、最も配慮すべき事項として認識し、計画を進めてまいります。そのため、歩道幅員が狭く歩道拡幅が必要な場所では、必要に応じて道路総幅員の拡幅が必要であると認識しております。	無
9. 交通	市道主 2-68 号(S 字道路)の相互通行化については、新拠点ゾーン利用を目的としない通過するだけの自動車交通量が大幅に増加することは明らかであり、再検討を要望します。	本計画（案）第 3 章（p.54）に「また、松戸駅方面と新拠点ゾーンの台地部を結ぶ市道主 2-68 号について、現状では片側一方通行のところを相互通行に整備すること」とお示ししているとおりに、相互通行化を検討いたします。 また、交通集中による渋滞が生じないよう交差点の設計をしてまいります。	無
10. 市民説明	パブリックコメントの取り方を、もっと市民に分かりやすい形で知らせて下さい。多くの市民の意見を生かした行政計画を期待しています。	パブリックコメントにつきましては、「松戸市パブリックコメント手続実施要綱」に基づき、広報まつどや松戸市公式ホームページにて市民へ公表させていただいたほか、市役所の行政資料センター・各支所・図書館（本館・各分館）・まつど市民活動サポートセンター・新拠点整備課での閲覧、松戸市公式 SNS（FaceBook、Twitter）、まつどニュース、近隣町会・自治会へのご案内など、様々な方法で広報を行いました。意見の提出方法は、窓口・電子メール・FAX・専用の応募フォームにてご意見の受付を実施しているところです。 いただいたご意見につきましては、関係部署と情報共有させていただき、今後の参考にさせていただきます。	無
10. 市民説明	計画進捗の節目ごとの市民説明会を心掛けていただきたい。	新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画（案）の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加型ワークショップ「MATSUDOING 2050」を開催したところです。また、「MATSUDOING 2050」の実施報告に関しては、活動報告となる「かわら版」を各回終了時に発行し、松戸市公式ホームページや松戸市公式 SNS（FaceBook・Twitter）において広く情報発信してまいりました。 今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等を考えております。	無
11. 市民参加 (WS)	ワークショップなどの市民の声を取り入れることは継続しつつ、中学生や高校生にも伝えていく活動を教育の一環として行うべきであると感じます。 民間との連携はかなり重要であると感じます。まちを作るのは決して行政だけではありません。地域のコミュニティを理解しながら、新拠点を形成していくことを願います。	ご指摘のとおり、まちづくりは箱物の空間を造ることではなく、地域の特性・暮らし方が長い年月の中でまちをつくり、やがて風土・文化となると考えています。また、まちづくりは、市民・民間事業者・行政の協働により取り組んでいく必要があると考えております。 新拠点ゾーン整備については、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」及び「新拠点ゾーン整備基本構想」と段階的に説明会を開催しており、本計画（案）の作成においてもシンポジウムを開催し、さらに、市民参加型ワークショップ「MATSUDOING 2050」を開催したところです。 なお、本ワークショップでは、10 代から 80 代までの在住・在勤・在学の一般参加者、第 1 回から第 3 回 男性 29 名 女性 17 名、第 4 回から第 6 回 男性 31 名 女性 20 名にご参加いただきました。	無

カテゴリー	主な意見	意見に対する市の考え方（案）	修正有無
11. 市民参加（WS）	<p>マツドゥーイング 2050 に参加いたしました。市役所の計画は全く話に出ていませんでした。</p> <p>予算までついているのであれば、せめてここで市民に話して欲しかった。ここで市役所ありきだったのかと、知った。</p> <p>とても悲しく思いました。</p>	<p>全6回の市民ワークショップでは、新拠点ゾーンの計画や庁舎の建替え・移転そのものを議論するのではなく、松戸駅周辺地域の30年後の将来像について議論したと認識しております。</p> <p>市役所機能につきましては、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p>	無
12. 議会	<p>市議会内に特別委員会を設置し、メリットとデメリットを公開し市民の声も聞く機会（現地か移転かなど）をご用意ください。</p>	<p>現在、市役所機能については、基本的な考え方を取りまとめており、今後、準備が整い次第、速やかに公表し、市民の皆さまの意見をお聴きしたいと考えております。</p> <p>今後につきましては、広報まつどなどでの情報提供、パートナー講座（出前講座）等による市民への丁寧な説明等に加え、市議会に対しても、各検討段階において丁寧に報告・説明し、予算等の議決をいただきながら進めてまいりたいと考えております。</p>	無
13. 周辺まちづくり	<p>エリアマネジメント会社については、市内でまちづくりを考えて活動している企業等も参加できるようなオープンな仕組みで決めていただきたいと思えます。</p>	<p>本計画（案）第4章（p.61）に、「まちづくりを推進し、将来にわたって魅力あるまちを持続させるためには、多様な主体（市民、民間事業者、市民団体、町会・自治会、協議会、大学、行政など）が参画し、新拠点ゾーン内で様々な市民活動がスムーズに展開できる産官学民連携の仕組みづくりが求められます。・・・（省略）・・・行政や民間の管理の垣根にとられない一体的な活動領域で管理し、まちの魅力創出・ブランド価値向上を目的に地域のアイデアを積極的に展開した運営のできるエリアマネジメント体制を構築します。」と示しております。</p> <p>いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>	無
13. 周辺まちづくり	<p>東口エリアと西口エリアにまたがった構想をすることができればより効率的かつ魅力的な街づくりができたのではないかと考えています。</p>	<p>本計画（案）第3章（p.55）に「新拠点ゾーンと戸定が丘歴史公園周辺、旧松戸宿周辺、江戸川周辺などを、歩行者ネットワークで結び、時代とともに変化し続ける松戸駅周辺地域と調和・連携することで新たな人の繋がりや活動が松戸駅周辺全体に波及していくことが期待されます。」と示しているとおあり、新拠点ゾーンは、松戸駅東口エリアに限定した計画ではなく、松戸駅周辺全体を対象として新拠点ゾーンで生まれる賑わいなどが波及していくよう段階的にまちづくりを進めてまいります。</p>	無
14. 事業手法事業費	<p>表題に整備基本計画とあります。基本計画図を示してください。基本計画には、基本計画図があるものです。</p>	<p>新拠点ゾーンはほぼすべてが国有地となっています。</p> <p>そのため、事業詳細については、現在、国と協議しております。</p>	無
14. 事業手法事業費	<p>土地区画整理事業についての説明がほとんどない。</p> <p>新拠点ゾーン整備基本計画案には、前提として、市庁舎の移転があると思われるが、相模台の国有地での土地区画整理事業から始めるとされている。すぐには無理だろうし、時間がかかりそうで、緊急性のある市庁舎建設に間に合いそうもない。その土地区画整理事業についての説明が曖昧で、事業地の範囲もよく分からない。</p>	<p>土地区画整理事業に関しましては、現在の「新拠点ゾーン」は、旧法務局や旧相模台官舎がいまだ廃墟として残り、既存の市道主2-68号（S字道路）は、急勾配、一方通行、歩道や路肩が狭く歩行者や自転車利用者が使いづらい状況となっております。</p> <p>そのため、「市街地開発事業」の一つである、「土地区画整理事業」により、道路勾配の緩和、相互通行、歩道や路肩の拡幅などの基盤整理を行い土地の有効活用を図り、令和3年度中に事業認可取得を目指し、検討を進めております。具体的な事業区域などにつきましては、各関係機関との調整が整い次第、公表していきたいと考えております。</p>	無

カテゴリー	主な意見	意見に対する市の考え方（案）	修正有無
15. 市の財政	<p>200億円或いはそれを上回る財政支出への対応策及び他の業務内容に与える影響と対応策が分かりません。「第2の夕張市」とならない保証はありますか？</p>	<p>本事業については、長期的な効果をもたらす事業であることから、世代間公平の観点から起債により対応するため一時的に市債残高は増加しますが、現庁舎の跡地の売却益や事業効果により回収できる事業計画となっていると考えています。今後、各事業において詳細な計画・設計を検討していく中で更なるコスト縮減を図るとともに、効率的かつ効果的な公共施設再編及び都市機能更新を図ってまいります。</p> <p>なお、現在の本市の財政健全化判断比率は、いずれの指標もすべて国の定めた基準を大きく下回っており債務水準（残高・返済能力）は健全な状況であり、本事業に投資する財政的な体力は備わっております。</p>	無
16. 計画本文	<p>パブリックコメントを求めるための資料としては、もっとよく整理して内容を的確に把握しやすいよう構成してまとめてあるべきだろう。検討内容の時系列的な記述や内容が重複している部分も見受けられ、量が多く繁雑で全容・結論把握をしにくい。構成は「導入-結論-説明-資料」の順であるのが理解把握しやすいと考えます。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>	無